

プログラム

【第1日目】7月31日（木）

講演会場

城山ホテル鹿児島 「4階 パール」

開会式

9:00 ～ 9:10

シンポジウム 1

9:10 ～ 10:40

司会：小玉 尚宏（大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）

中本 安成（福井大学医学部 第二内科）

「個別化医療におけるがん免疫療法の可能性と未来」

S1-1 消化器関連 irAE における臨床病理学的特徴および長期予後への影響

○赤澤 悠（あかざわ ゆう）、野阪 拓人、村田 陽介、田中 知子、高橋 和人、内藤 達志、大谷 昌弘、中本 安成

福井大学医学系部門内科学（2）分野

S1-2 FGFR4-CXCL9 axis を介した肝癌に対する ICI 治療抵抗性の検討

○須田 剛生（すだ こうき）、大原 正嗣、北潟谷 隆、坂本 直哉

北海道大学病院

S1-3 切除不能肝細胞癌に対する複合免疫療法効果予測因子 Carbonic anhydrase 9 の同定

○佐藤 悠（さとう ゆう）、小玉 尚宏、前阪 和城、甲斐 真知子、大工 和馬、高橋 遼、山本 修平、白井 久美子、村井 一浩、田畑 優貴、斎藤 義修、疋田 隼人、巽 智秀、竹原 徹郎

大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

S1-4 テロメラーゼ逆転写酵素を標的とした免疫療法の開発

○中河 秀俊（なかがわ ひでとし）、水腰 英四郎、山下 太郎

金沢大学附属病院 消化器内科

S1-5 空間的シングルセル解析による肝癌-線維化微小環境の解明

○松田 道隆（まつだ みちたか）、考藤 達哉

国立国際医療研究センター、肝炎・免疫研究センター、肝疾患研究部

S1-6 Glycoprotein Nonmetastatic Melanoma Protein B (GNMB) は癌微小環境における抗腫瘍免疫応答を抑制する

○熊谷 公太郎 (くまがい こうたろう)¹⁾、西木場 奈央¹⁾、小田 耕平¹⁾、馬渡 誠一¹⁾、田ノ上 史郎²⁾、上村 修司¹⁾、井戸 章雄¹⁾

1) 鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学、2) 鹿児島大学大学院 疫学・予防医学

S1-7 がん関連線維芽細胞に由来する THBS2 は抗腫瘍免疫細胞を排除し治療抵抗性の腫瘍微小環境を形成する

○岩根 康祐 (いわね こうすけ)、中西 祐貴、妹尾 浩

京都大学大学院医学研究科 消化器内科学

S1-8 精神的ストレスが誘導する肝細胞癌微小環境における好中球遊走機構の解明

○小川 慶太 (おがわ けいた)^{1,2)}、青木 孝浩¹⁾、高見 真理子¹⁾、本橋 新一郎¹⁾

1) 千葉大学大学院医学研究院免疫細胞医学、2) 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学

教育講演 1 (スポンサードセミナー)

10:50 ~ 11:20

座長：竹田 潔 (大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学 免疫学フロンティア研究センター)

腸疾患の病態解明と治療における消化管免疫学の功績と課題、そして、将来への展望

○星 奈美子 (ほし なみこ)

神戸大学大学院医学研究科 未来医学講座

バイオリソース・ヘルスケア統合解析科学分野

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

一般演題 1

11:20 ~ 11:52

司会：大野 博司 (理化学研究所 生命医科学研究センター)

01-1 腸管上皮細胞のケトン体合成酵素 HMGCS2 の腸管炎症に対する機能解析

○横田 佳大 (よこた よしひろ)¹⁾、大野 将司¹⁾、水野 凌¹⁾、今井 隆行¹⁾、久米 真司²⁾、西田 淳史¹⁾

1) 滋賀医科大学 消化器内科、2) 滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科

01-2 慢性大腸炎モデルにおける GCN2 の役割の解明

○持丸 友昭 (もちまる ともあき)¹⁾、鬼澤 道夫¹⁾、根本 大樹²⁾、川島 一公¹⁾、綿引 優¹⁾、佐久間 千陽¹⁾、村上 舞¹⁾、大平 弘正¹⁾

1) 福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座、2) 福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部

01-3 肝細胞増殖因子は腸管マクロファージの表現型を変化させることで DSS 誘発性の大腸炎を改善する

○藤野 悠介 (ふじの ゆうすけ)¹⁾、上村 修司²⁾、森永 裕子²⁾、児島 一成²⁾、前田 将久²⁾、田中 啓仁²⁾、前田 英仁²⁾、熊谷 公太郎²⁾、佐々木 文郷²⁾、田ノ上 史郎²⁾、井戸 章雄²⁾

1) 鹿児島厚生連病院 消化器内科、2) 鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学

01-4 デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) マウスへのコルヒチン投与による治療効果の検討

○向坂 秀人 (さきさか ひでと)¹⁾、竹田津 英稔²⁾、平井 郁仁¹⁾

1) 福岡大学医学部消化器内科学講座、2) 久留米大学医学部内科学講座消化器内科

ランチョンセミナー 1

12:05 ~ 12:55

座長：金井 隆典 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))

潰瘍性大腸炎治療の未来を切り拓く

○杉本 健 (すぎもと けん)

浜松医科大学 内科学第一講座

共催：ヤンセンファーマ株式会社

特別講演 1

13:05 ~ 13:55

司会：井戸 章雄 (鹿児島大学 学長)

肝疾患におけるリンパ循環と免疫調整の役割

○岩切 泰子 (いわきり やすこ)

イエール大学医学部内科消化器科

アフタヌーンセミナー 1

14:05 ~ 14:55

座長：上村 修司 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患 生活習慣病学分野)

「潰瘍性大腸炎治療の最新エビデンスと今後の展望」

JAKの基礎そして臨床

○溝口 充志 (みぞぐち あつし)

久留米大学医学部 免疫学講座

UC診療に関するTofacitinibの最新エビデンス

○江崎 幹宏 (えさき もとひろ)

佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科

共催：ファイザー株式会社

教育講演 2 (スポンサードセミナー)

15:05 ~ 15:35

座長：日比 紀文 (慶應義塾大学)

潰瘍性大腸炎における新規自己抗体、抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 自己抗体について

○塩川 雅広 (しおかわ まさひろ)

京都大学大学院医学研究科 消化器内科学

共催：株式会社医学生物学研究所

司会：久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

02-1 **ゲセルクマブ導入療法は活動性潰瘍性大腸炎の炎症を分子レベルで消失させる：第Ⅲ相 QUASAR 試験**

○杉本 健（すぎもと けん）¹⁾、Sridhar Sunan²⁾、Amy Hart²⁾、Swati Venkat²⁾、Kuan-Hsiang Gary Huang²⁾、Shadi Yarandi²⁾、Matthew Germinaro²⁾、David T. Rubin³⁾、Axel Dignass⁴⁾、Daniel Cua²⁾、Tom Freeman²⁾、佐々木 絢子⁵⁾、Bram Verstockt⁶⁾、Patrick Branigan²⁾

- 1) 浜松医科大学医学部内科学第一講座、2) Janssen Research & Development LLC、
3) University of Chicago Medicine, Inflammatory Bowel Disease Center、
4) Department of Medicine I, Agaplesion Markus Hospital, Goethe University、
5) Johnson & Johnson メディカルアフェアーズ本部 イムノロジー部イムノロジーグループ、
6) Department of Gastroenterology and Hepatology, University Hospitals Leuven; and Translational Research in Gastrointestinal Disorders, Department of Chronic Disease

02-2 **ゲセルクマブ維持療法は潰瘍性大腸炎の腸管免疫のホメオスタシスと粘膜治癒のさらなる改善を促進する**

○杉本 健（すぎもと けん）¹⁾、Amy Hart²⁾、Sunan Sridhar²⁾、Swati Venkat²⁾、Kuan-Hsiang Gary Huang²⁾、Shadi Yarandi²⁾、Matthew Germinaro²⁾、David T. Rubin³⁾、Axel Dignass⁴⁾、Daniel Cua²⁾、Tom Freeman²⁾、Dawn Waterworth²⁾、佐々木 絢子⁵⁾、Bram Verstockt⁶⁾、Patrick Branigan²⁾

- 1) 浜松医科大学医学部内科学第一講座、2) Janssen Research & Development LLC、
3) University of Chicago Medicine, Inflammatory Bowel Disease Center、
4) Department of Medicine I, Agaplesion Markus Hospital, Goethe University、
5) J & J ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部 イムノロジー部 イムノロジーグループ、
6) Department of Gastroenterology and Hepatology, University Hospitals Leuven; and Translational Research in Gastrointestinal Disorders, Department of Chronic Disease

02-3 **中等症から重症潰瘍性大腸炎に対する IL-12/23 阻害剤の治療効果予測における臨床およびバイオマーカーの検討**

○都築 義和（つづき よしかず）^{1,2)}、宮口 和也^{1,2)}、松本 悠²⁾、塩味 里恵²⁾、今枝 博之^{1,2)}

- 1) 埼玉医科大学 消化管内科、2) 埼玉医科大学 総合診療内科

司会：田中 篤（帝京大学医学部内科学講座）

児玉 裕三（神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野）

「肝胆膵領域における自己免疫性疾患診療の進歩と課題」

S2-1 急性発症型および慢性自己免疫性肝炎の臨床病理学的特徴と抗PD-1抗体の意義

○織田 崇志（おだ たかし）¹⁾、高木 章乃夫^{1,10)}、原田 憲一²⁾、有永 照子³⁾、阿部 雅則⁴⁾、松居 剛志⁵⁾、高橋 敦史⁶⁾、鈴木 義之⁷⁾、中本 伸宏⁸⁾、大平 弘正⁶⁾、田中 篤⁹⁾、竹内 康人¹⁾、大西 秀樹¹⁾、大塚 基之¹⁾

- 1) 岡山大学病院消化器内科、2) 金沢大学病院病理診断科、
3) 久留米大学医学部 医療検査学科・内科学講座消化器内科部門、
4) 愛媛大学大学院医学系研究科医科学専攻 消化器・内分泌・代謝内科学、
5) 手稲溪仁会病院 消化器内科、6) 福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座、
7) 虎の門病院 肝臓内科、8) 慶応義塾大学病院 消化器内科、
9) 帝京大学医学部附属病院 消化器内科、10) 岡山大学 肝・腎疾患連携推進講座

S2-2 原発性硬化性胆管炎における胆道鏡所見の検討

○福岡 泰斗（ふくま たいと）、藤澤 聡郎、池村 宗朗、伊佐山 浩通

順天堂大学消化器内科

S2-3 当院の原発性硬化性胆管炎症例における血清ビタミンD・骨密度に関する検討

○金井 祥子（かない さちこ）^{1,2)}、水野 卓³⁾、高原 楠晃²⁾、藤城 光弘²⁾

- 1) 朝日生命成人病研究所附属病院消化器内科、2) 東京大学医学部附属病院消化器内科、
3) 埼玉医科大学病院消化器内科・肝臓内科

S2-4 IL-17A 遺伝子欠損が胆汁うっ滞性肝疾患の病態に及ぼす影響の検討

○北潟谷 隆（きたがたや たかし）、田中 崇倫、北野 翔一、目野 晃光、保浦 直弘、佐々木 貴志、甲谷 理沙子、中井 正人、荘 拓也、須田 剛生、坂本 直哉

北海道大学病院 消化器内科

S2-5 Aryl hydrocarbon receptor を介した原発性硬化性胆管炎の新規病態メカニズムの解明と治療戦略の探索

○谷木 信仁（たにき のぶひと）、中島 悠貴、吉松 裕介、寺谷 俊昭、中代 幸江、岡田 はるか、春日 良介、田淵 貴也、碓井 真吾、尾城 啓輔、中本 伸宏、金井 隆典

慶應義塾大学医学部内科学（消化器）

S2-6 自己免疫性膵炎における形質細胞様樹状細胞に着目したサイトカイン/ケモカインのフィードバックループ機構

○原 茜（はら あかね）、渡邊 智裕、三長 孝輔、瀬海 郁衣、栗本 真之、大丸 直哉、大塚 康生、吉川 智恵、鎌田 研、工藤 正俊

近畿大学病院消化器内科

イブニングセミナー

17:50 ～ 18:40

座長：内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座）

インフラマソーム関連遺伝子変異からみた炎症性腸疾患病態

○仲瀬 裕志（なかせ ひろし）

札幌医科大学医学部内科学講座消化器内科学分野

共催：ミヤリサン製薬株式会社

情報交換会（会場：4F レインボー）

19:00 ～ 20:30

【第2日目】8月1日（金）

講演会場

城山ホテル鹿児島 「4階 パール」

モーニングセミナー

8:00 ～ 8:50

座長：櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

サイトカインプロファイルが導く潰瘍性大腸炎の治療戦略

○杉本 健（すぎもと けん）

浜松医科大学 内科学第一講座

共催：武田薬品工業株式会社

一般演題 3

9:00 ～ 10:04

司会：三上 洋平（慶應義塾大学医学部消化器内科）

穂苅 量太（防衛医科大学校 消化器内科）

03-1 グルテン不耐症の臨床的特徴と抗グリアジンIgG抗体の有用性に関する検討

○本山 美久仁（もとやま みくに）、山田 恒、松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

03-2 ケトン食による実験的自己免疫性脳脊髄炎の抑制機構

○谷口 勝城（やぐち かつき）^{1,2)}、竹内 直志^{1,3)}、宮内 栄治^{1,4)}、川住 雅美¹⁾、
中西 裕美子¹⁾、加藤 完¹⁾、関根 滋彦¹⁾、前田 慎²⁾、大野 博司¹⁾

- 1) 理化学研究所 生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム、
- 2) 横浜市立大学医学部 消化器内科学、3) スタンフォード大学医学部 微生物/免疫学部門、
- 4) 群馬大学生体調節研究所 粘膜エコシステム制御分野

03-3 幼少期宿主における腸管粘膜の遺伝子発現と腸内細菌叢の構築

○三好 潤（みよし じゅん）¹⁾、西成田 悠¹⁾、黒沼 智²⁾、小栗 典明¹⁾、根本 展希¹⁾、
和田 晴香¹⁾、竹内 修²⁾、小林 拓³⁾、松浦 稔¹⁾、日比 紀文³⁾、久松 理一¹⁾

- 1) 杏林大学医学部消化器内科学、2) 北里大学北里研究所病院研究部 バイオメディカルラボ、
- 3) 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター

03-4 家族性地中海熱患者における Fecal calprotectin および腸内細菌叢の検討

○我妻 康平（わがつま こうへい）¹⁾、福井 翔一²⁾、遠藤 友志郎²⁾、齋藤 賢司³⁾、
松本 聖生³⁾、右田 清志⁴⁾、古賀 智裕²⁾、仲瀬 裕志¹⁾

- 1) 札幌医科大学医学部内科学講座消化器内科学分野、
- 2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学分野、
- 3) 福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座、
- 4) 聖フランシスコ病院 リウマチ膠原病内科

03-5 プロバイオティクス由来代謝物による多発性骨髄腫進行抑制効果

○小西 弘晃 (こにし ひろあき)¹⁾、安藤 勝祥²⁾、上野 伸展²⁾、盛一 健太郎²⁾、
藤谷 幹浩^{1,2)}

1) 旭川医科大学 消化器先端医学講座、2) 旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野

03-6 潰瘍性大腸炎における腹腔内リンパ節腫大の意義

○武部 友寛 (たけべ ともひろ)¹⁾、石田 夏樹¹⁾、高橋 賢一¹⁾、浅井 雄介¹⁾、松浦 友春³⁾、
山出 美穂子¹⁾、岩泉 守哉³⁾、山田 貴教²⁾、濱屋 寧¹⁾、大澤 恵²⁾、杉本 健¹⁾

1) 浜松医科大学 内科学第一講座、2) 浜松医科大学 光学医療診療部、
3) 浜松医科大学 臨床検査医学講座

03-7 潰瘍性大腸炎の大腸粘膜における protein arginine deaminase 2 および 4 発現の相互制御

○大塚 康生 (おおつか やすお)、三長 孝輔、原 茜、岡井 夏輝、益田 康弘、正木 翔、
鎌田 研、本庶 元、渡邊 智裕、工藤 正俊

近畿大学医学部 消化器内科

03-8 抗 TNF α 抗体製剤ゴリムマブによる潰瘍性大腸炎寛解導入時の soluble IL2 receptor の検討

○加藤 真吾 (かとう しんご)

埼玉医科大学総合医療センター 炎症性腸疾患センター、消化器・肝臓内科

若手入門セミナー

10:10 ~ 11:00

司会：竹原 徹郎 (関西労災病院)

免疫学的手法を用いた肝線維化修復機序解明の試み

○中本 伸宏 (なかもと のぶひろ)

慶應義塾大学医学部消化器内科

炎症性腸疾患と炎症性関節炎に用いる分子標的治療薬

○川上 純 (かわかみ あつし)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学

教育講演 3 (スポンサードセミナー)

11:10 ~ 11:40

座長：平峯 靖也 (鹿児島厚生連病院)

アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法を主軸として予後延長を目指す治療戦略

○下瀬 茂男 (しもせ しげお)

久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門

共催：中外製薬株式会社

司会：大平 弘正（福島県立医科大学 消化器内科学講座）

04-1 Intermediate stage 肝細胞癌に対する免疫複合療法の治療成績と後治療の解析

- 馬渡 誠一（まわたり せいいち）、熊谷 公太郎、谷山 央樹、豊留 亜衣、坂江 遥、
 梶 一晃、小田 耕平、上村 修司、井戸 章雄
 鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学

04-2 免疫抑制マウスへのHBs/HBc抗原の経鼻投与によるHBV特異的な免疫の誘導

- 島本 豊伎（しまもと とよき）、吉田 理、盛田 真、矢野 怜、岡崎 雄貴、中村 由子、
 行本 敦、渡辺 崇夫、徳本 良雄、廣岡 昌史、阿部 雅則、日浅 陽一
 愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学

04-3 脂肪肝炎マウスにおける自然免疫分子MDA5の意義

- 川口 章吾（かわぐち しょうご）^{1,2)}、相馬 郷²⁾、太田 真二²⁾、平賀 寛人²⁾、立崎 真幸¹⁾、
 今泉 忠淳¹⁾、櫻庭 裕丈²⁾
 1) 弘前大学大学院医学研究科血管炎症医学講座、
 2) 弘前大学大学院医学研究科消化器血液免疫内科学講座

ランチョンセミナー 2

12:20 ~ 13:10

座長：坂本 直哉（北海道大学大学院医学研究院 内科学分野消化器内科学教室）

DAA時代における慢性肝炎診療～C型肝炎から脂肪性肝疾患まで～

- 宮明 寿光（みやあき ひさみつ）
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科学分野

共催：アッヴィ合同会社

特別講演 2

13:20 ~ 14:10

司会：金井 隆典（慶應義塾大学医学部）

異種臓器移植の国際動向と日本における取組

- 佐原 寿史（さはら ひさし）^{1,2)}
 1) 鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門、
 2) 鹿児島大学医歯学総合研究科 臓器置換・異種移植外科分野

座長：土屋 輝一郎（筑波大学医学医療系 消化器内科 / 筑波大学附属病院 IBD センター）

IBDにおけるサイトカインプロファイルとIL-23経路の重要性

○荻野 治栄（おぎの はるえい）

九州大学大学院医学研究院 消化器代謝学講座

共催：持田製薬株式会社

一般演題 5

15:20 ~ 16:08

司会：櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科消化器血液免疫内科学講座）

新崎 信一郎（兵庫医科大学医学部消化器内科学講座）

05-1 腸管炎症における細胞内核酸センサー STING を介した環状ジヌクレオチドの免疫賦活作用に関する検討

○尾松 達司（おまつ たつし）¹⁾、高木 智久²⁾、水島 かつら³⁾、村上 瑛基²⁾、堅田 和弘¹⁾、内山 和彦²⁾、内藤 裕二³⁾

1) 京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科、2) 京都府立医科大学 消化器内科学、
3) 京都府立医科大学 生体免疫栄養学

05-2 若年性ポリポーシスに合併した難治性潰瘍性大腸炎の1例

○平賀 寛人（ひらが ひろと）¹⁾、蓮井 桂介¹⁾、太田 真二¹⁾、雨森 恭子¹⁾、須藤 翔¹⁾、村元 龍太郎¹⁾、松岡 祐介¹⁾、浅利 享¹⁾、澤田 洋平¹⁾、立田 哲也¹⁾、菊池 英純^{1,2)}、平賀 典子¹⁾、珍田 大輔³⁾、櫻庭 裕丈^{1,2,3)}

1) 弘前大学医学部消化器血液免疫内科学講座、2) 弘前大学医学部地域医療学講座、
3) 弘前大学医学部附属病院光学医療診療部

05-3 脂肪組織から見た腹膜炎制御メカニズムの解明

○長田 律（ながた りつ）¹⁾、赤間 悠一²⁾、影山 友子¹⁾、川住 雅美¹⁾、島岡 要³⁾、大野 博司¹⁾、佐藤 尚子¹⁾

1) 理化学研究所 生命医科学研究センター、2) Feinstein Institutes for Medical Research、
3) 三重大学大学院医学系研究科 分子病態学研究室

05-4 IgG4関連疾患の複数臓器罹患に対する予測因子の検討

○田ノ上 史郎（たのうえ しろう）¹⁾、熊谷 公太郎²⁾、上村 修司²⁾、井戸 章雄³⁾

1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 疫学・予防医学、
2) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学、3) 鹿児島大学

05-5 扁桃病巣疾患

○高原 幹（たかはら みき）

旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

05-6 京大大学病院臨床研究：遺伝性乳がん卵巣がんを伴う胃がん患者におけるオラパリブとパクリタキセルの併用療法

○林 琢磨 (はやし たくま)^{1,4)}、佐野 健司²⁾、岡田 茉莉¹⁾、武藤 学³⁾、小西 郁生¹⁾

- 1) 国立病院機構京都医療センター がん医療、2) 信州大学医学部附属病院 病理検査、
3) 京都大学医学部附属病院 腫瘍内科、
4) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 橋渡し事業

評議員会・総会

16:20 ～ 16:50

土屋賞・若手学術賞 受賞講演

17:00 ～ 17:30

【土屋賞】

研究課題：

腸上皮の免疫制御および再生機構を応用したIBDに対する新規治療戦略

渡辺 守 (わたなべ まもる)

順天堂大学大学院医学研究科 オルガノイドセンター

【若手学術賞】

受賞論文：

An enterococcal phage-derived enzyme suppresses graft-versus-host disease

藤本 康介 (ふじもと こうすけ)

大阪公立大学大学院医学研究科 ゲノム免疫学

表彰式・閉会式

17:40 ～ 18:00